

平成 28 年度 各施設事業実績報告書

社会福祉法人 済聖会

新砂田保育園

しんほそぐち保育園

ブライト保育園 横浜佐江戸

ブライト保育園 大阪谷町

ブライト保育園 東京入船

ブライト保育園 浦和美園

●年間スケジュール
(4月～9月)

月	行事	保護者参加行事
4月	1日(金) 希望保育 4日(月) 始業式 4日(月)～8日(金) 慣らし保育 20日(水) 誕生会 28日(水) 避難訓練	2日(土) 入園式 ※土曜保育はありません
5月	18日(水) 誕生会 27日(金) 避難訓練	19日(水) 親子遠足(3～5歳児) ※0～2歳は通常保育
6月	1日(水) 衣替え 2日(木) 歯科検診 8日(水) 不審者対策訓練 15日(水) 誕生会 24日(金) 避難訓練 避難者訓練(5歳児)	個人懇談会 0歳 5/30日～6/3日 1歳 6日～10日 2歳 13日～17日 25日(土) 保育参観(3～5歳児) ※土曜保育はありません
7月	1日(金) プール開き 午後開始(4・5歳児) 7日(木)七夕会 13日(水) 誕生会 16日(土) お泊り保育(5歳児) 29日(金) 避難訓練 30日(土)～8/6(土) 作品展	
8月	3日(水) 誕生会 12日(金)～15日(月) 希望保育 26日(金) 避難訓練 31日(水) プール納め	
9月	1日(木) 総合避難訓練 14日(水) 内科検診 15日(木) お月見会 21日(水) 誕生会	16日(金) キラキラの会(敬老会) ※14:00～15:30予定

(10月～3月)

月	行事	保護者参加行事
10月	1日(土) 衣替え 12日(水) 誕生会 19日(水) 不審者対策訓練 28日(金) 避難訓練 芋づわり	8日(土) 運動会 13日・20日(水) リトミック参観(3～5歳) ※自由参加
11月	16日(水) 誕生会 25日(金) 避難訓練	15日・22日(水) 体操教室参観(3～5歳) ※自由参加 26日(土) 保育参観(0～2歳児) ※土曜保育はありません
12月	7日(水) 誕生会 16日(金) クリスマス会 17日(土) 避難訓練 21日(水)～28日(水) 希望保育 29日(水)～31日(土) 年末休題	個人懇談会 3歳 11/28日～2日 4歳 5日～9日 5歳 12日～16日
1月	1日(日)～3日(水) 年始休題 4日(水)～7日(土) 希望保育 12日(水) 餅つき 18日(水) 誕生会 27日(金) 避難訓練	
2月	3日(金) 節分 8日(水) 不審者対策訓練 15日(水) 誕生会 24日(金) 総合避難訓練 保育まつり(5歳児)	25日(土) 生活発表会
3月	3日(金) ひな祭り会 8日(水) 誕生会 16日(木) 内科検診・新入園説明会 17日(金) お別れ遠足 24日(金) お別れ会	25日(土) 卒園式 ※在園児代参で4歳児参加 ※土曜保育はありません

※土曜保育ご利用の方は用紙にて申し込みが必要になります。行事の為に土曜保育をご利用頂けない日もありますので、ご理解の協力をお願い致します。
※本学記載行事は日程が決まり次第、随時にお知らせ致します。

平成28年度新砂田保育園事業報告書

I. 保育所の運営

(1) 定員 120名

(2) 年齢別入所児童数 (平成29年3月31日現在)

夢 (0歳)	虹 (1歳)	月 (2歳)	星 (3歳)	宙 (4歳)	華 (5歳)	合計
12名	18名	24名	24名	25名	26名	129名

(3) 職員数

- ・園長 1名 ・副園長 1名 ・主任 1名 ・保育士 13名
- ・パート保育士 3名 ・調理 (栄養士) 2名 ・パート調理 2名
- ・嘱託医 2名 (内科 1名・歯科 1名) 計 26名 (平成27年3月31日現在)

(4) 職員会議の開催状況

園の円滑な運営と事業推進のため次の職員会議を行う。

- ・定例職員会議 (毎月) ・クラス会議 (月1回) ・リーダー会議 (月1回)
- ・乳児、幼児リーダー会議 (月1回) ・各種委員会会議 (随時) ・給食会議 (毎月) など

(5) 研修会、勉強会 (人材育成、保育の質の向上) の取り組み状況

保育所ニーズに応え、児童福祉・地域福祉の一層の展開を図るため職員の資質向上は極めて重要であり、上部団体・各種団体の開催する研修会・研究会に積極的に参加。外部のみならず、内部においても各種勉強会 (マナー講座、コミュニケーション研修、食育など) を実施。

(6) 小学校・行政機関との連絡協調

保育所に対する理解を深め、協力、連携を図るため幼保小連絡懇談会を実施

II. 保育の実施状況

(1) 保育目標 (方針)

【ミッション】

関わるすべての人の「ハッピー」を追及することをもっとも大切な使命とこころえています。「園児」の「生きる力」(独り立ちし社会の中で生きていく力)の基盤づくりを「アタマ・ココロ・カラダ」の三位一体“興育”を通じて支援する。

【モットー】

「つよく、ゆたかに、キラキラと」を保育モットーとしています。生きていくうえで大切な「つよさ、ゆたかさ、キラキラ」を園児自らが身につけることを支援したいという「思い」と「姿勢」が表れています。

【保育目標】

“私は私 (自分らしく生きる)、私はみんなの中の私 (みんなと共に生きる)”
《一個の主体として生きていく基本姿勢を育む》

- ① 自分の思いを表現する
- ② 自分で積極的に「ヒト、モノ、コト」に取り組む
- ③ 自分で考え、工夫し判断する
- ④ 他者の思いに気づき、他者の思いを受け止めていく

【保育の関わり方】

- ① 子供の思いを受け止める
- ② 子供が自分で経験することを大切にする
- ③ 子供が自分で考え工夫することを大切にする
- ④ 子供が自分で気づくように言葉かけをする

(2) 保育時間

午前7時15分～午後7時15分

(延長保育時間 午後6時15分～午後7時15分)

(3) 保育内容

- ・ 保育所保育指針に基づいた指導計画を作成し、計画的に保育を行うことで、子どもの情緒が安定するような生活環境を作り、それぞれが自己を十分発揮して活動できるよう促していった。
- ・ 『興育』の考えに重点を置き、より多くの体験、感動から子どもたちが学ぶことを大事にした運営を心がけた。
- ・ 年齢に応じて保育環境を準備し、基本的な生活習慣を身につけるための介助、言葉かけを行い、自立心を養った。また、遊びの中で集団生活に必要なルールを知らせていった。
- ・ 外部講師による体操教室やリトミックの指導を受けながら、日々の保育の中で子どもたち一人ひとりが運動や音楽に興味を持ち楽しんで取り組むことができるよう心掛けた。また、体操教室、リトミックの保護者参観を行い、保護者の方々に子どもたちの成長ぶりや楽しんでいる姿を見て頂く機会を設けた。
- ・ 恵まれた環境を生かして、園外散歩の機会を増やし、自然を取り入れて遊ぶことで四季の移り変わりを体で感じ、感性を磨くことにつなげることができた。
- ・ 「遊び」の積極的な取り組みをより深め、進化させるために外部講師（名古屋学芸大学 渡辺准教授）を招いての園内研修を継続実施（2年目）。今後も継続して実施し、さらに遊びの幅と質を追求していきたい
- ・ 小学生、中学生などの保育士以外の人との交流を通じ、より多くの学びや刺激、人と関わることの大事さ、難しさなど生きる上で大事なことを感じとることができた。

(4) 外部講師の指導状況

指導内容	指導回数
体操教室	毎週火曜日 年間30回
リトミック教室	隔週木曜日 年間24回

(5) 実施した特別保育事業

延長保育促進事業

(6) 実施した主な行事

別紙「年間行事予定表」参照

Ⅲ. 給食の実施状況（食への取り組み）

- ・ インスタントやレトルト食品は極力使用せず季節の食材を取り入れた手作りで和食中心の献立を実施した。（おやつについても手作りにこだわった）
- ・ 毎月行われる給食会議で、子どもたちの食べ具合などを考慮し、メニューの改善や食材の幅を広げるなどの工夫を心がけた。
- ・ アレルギー体質の子どもへの対応策の改善、改革を常に心がけ、保護者の方との連携を密にして子どもにあった食材、ミルクの使用を行った。
（*除去食だけでなく、一部代替食の実施を試みた）
- ・ 園庭での野菜栽培に取り組み、収穫した野菜をその場で洗って食べたり、給食の一品にしたりと、様々な食体験を通して食べたいもの、好きなものが増え自然の恵みに感謝する心を育てることができた。
- ・ 「お弁当箱」の日を設け、持参したお弁当箱に自分自身で盛り付け食べるということを通じて食に関する楽しさを身につけることができた。
- ・ 保護者および「すくすくの会」の保護者向けに給食試食会を実施し、家庭での献立、味付けなどの参考として頂くことができた。
- ・ その他、お芋ほり、クッキングの日、お箸の使い方指導など、給食室と保育現場メンバーとが協力し、知恵を出し合いながら食育への積極的取り組みが行われた。

IV. 子育て支援

- ・保育参観での保護者会、個別面談を通じて、育児、食育などに対する保護者の声に耳を傾けアドバイスや励ましを行った。
- ・2年目から実施していた「すくすくの会」が地域で認知され、1回の実施を2部制で運営するほどの盛況ぶりであった。1回あたり40名の参加で6月から月1回、年間10回実施した。地域の方々の期待に応えるべく今後も引き続き運営していきたい

V. 健康管理の実施状況

(1) 児童

① 小児科

年2回(3月、11月)園嘱託医による健康診断を実施した。

② 歯科

6月に、園嘱託歯科医による歯科検診を実施した。

(2) 職員

① 定期健康診断

年1回、健康診断を全職員に実施した。

② 検便

毎月、専門業者に依頼し「赤痢・サルモネラ菌」「病原性大腸菌」の検査を全職員に実施した。

VI. 非常災害など危険防止の実施状況

(1) 避難・消火・通報訓練

月1回、いろいろな場所からの出火を想定して避難・消火・通報訓練を実施した。また地震を想定した防災訓練も実施した。

今年は消防署の方に参加頂いて、防災訓練についての指導および実践的消火活動を指導して頂いた。

(2) 防犯訓練

不審者出現を想定した防犯訓練を設置してある防犯用道具、110番通報装置を用いて行った。

考え得る様々な場面、シーンを想定してのより実践的な不審者訓練を実施した。

(3) 園内安全講習の実施

職員が持ち回りで自発的に安全講習(実践的な)を継続的に実施

VII. 地域交流など

○保育実習生、調理実習生の受け入れ

○地元中学生の「保育園働き体験」の受け入れ

○地元小学生の「職場見学」の受け入れ

○町内会イベントへの参加

平成28年度しんほそぐち保育園事業報告書

1. 保育理念・方針・目標

【保育理念】

子どもたちの「生きる力」(独り立ちし社会の中で生きていく力)の基盤づくりを支援する

【基本方針】

アタマ・ココロ・カラダを育む三位一体興育(興味・体験・感動・気づき)

1. 子どもたちの興味を引き出すより多くの機会を提供する
2. 子どもの思いを受け止める
3. 子どもが自分で経験することを大切にする
4. 子どもが自分で考え工夫することを大切にする
5. 子どもが自分で気づくように言葉かけをする

【保育モットー】

「つよく ゆたかに キラキラと」をモットーとしています。

「つよく」*我慢強さ、打たれ強さ、諦めない気持ち、負けない強さ(健全なる競争心)

*健康増進、健康な体づくり

*自分で考え、自分で行動する、常にプラス思考

「ゆたかに」*心の豊かさ、豊かなコミュニケーション、創造性の豊かさ、豊かな感性を育てる

「キラキラと」*ココロの輝き

*何か一つでも好きで夢中になれるものを見だし、探究心・持続力・集中力を養い、
自分に対して自信を持って輝いている

1・保育園の運営

定員 60名

(1) 園児数

	つばめ (0歳)	こだま (1歳)	ひかり (2歳)	あさひ (3歳)	のぞみ (4歳)	のぞみ (5歳)
定員	6	12	12	10	10	10
在籍数	6	12	12	12	11	10

*4・5歳児混合縦割り保育実施

(2) 職員数

- ・園長 1名 ・主任 1名 保育士 7名 ・調理(栄養士) 2名
 - ・パート保育士 1名 ・保育補助 2名
 - ・体操教室講師(外部) 1名 ・委託医 2名(内科 1名・歯科医 1名)
- 計17名(平成29年3月現在)

(3) 職員会議・委員会活動等の開催状況

- ・定例職員会議(毎月月末1回)実施クラス状況の報告

クラス運営の進み具合や悩み等を事前にまとめ話し合えるようにしたことで改善点を日々の保育に反映することができた。また、行事予定の確認と打合わせを行う事でスムーズに行事を行う

ことができた。

- ・リーダー会議・クラス会議・給食会議（毎月1回）実施
- ・委員会活動の実施（随時）※下記表にて活動報告参照
- ・行事会議（事前打ち合わせ・デイリープログラム作成にて全職員が把握することで事前準備をスムーズに行うことができた）
- ・全会議をとおして情報交換、意見交換、話し合いに積極的に参加し意見を述べることができた

（4）研修会の取り組み実施

- ・名古屋市保育運営課主催の外部研修会への参加・園内報告によりお互いに情報を共有しつつ、日々の保育に生かすことができた。

※（委員会活動報告）

委員会名	内容
子育て委員	外部より0・1歳児向けの子育て支援を行い、子育ての悩み相談・制作や季節の行事を開催(6月より年10回開催)
食育委員	稲や野菜・季節の花などを子ども達と栽培 クッキング体験(フルーチェ・クッキー・おこしものなど) 箸の使い方や、茶碗の持ち方などのマナー体験を子ども達に伝えた
遊び委員	ペープサート・いろいろぼうや・お手紙ごっこ・正月あそび・ドッジボール大会など幼児・乳児に別れ遊びの提供(年5回開催)
絵本委員	毎月絵本の読み聞かせ(大型絵本・大型紙芝居・新刊・季節にあった絵本を幼児・乳児ごとでの提供(毎月1回開催)
アルバム委員	卒園アルバム作成

2. 今年度の重点的な取り組み実施

（チーム作り・メンバー個々のありかたについて）

（1）すべての職員がリーダーシップを発揮する

- ・一人ひとりが自分のやりたい保育を意欲的に楽しく行うことを目標とし、スキルを磨く為に苦手分野の研修会への自発的な参加により保育の質の向上を目指すことができた

（2）安心・安全・丁寧な保育の提供

- ・一人ひとりに寄り添った丁寧な保育を心がけた
- ・あたりまえの見直し、原点にもどり保育を行うことで新たな気づきができ日々の保育を見直す機械となった

（3）「遊び」の具体化による外部講師研修実施

- ・名古屋学芸大学ヒューマンケア学部准教授渡辺桜先生による「遊びが楽しくなる保育」3つの拠点作りをテーマに基づき、子どもたちが自ら遊びを見つけ、発展させながら生きる為に必要な力を身に付けられるように内部園内研修実施
- ・年2回新砂田保育園合同公開保育研修会への参加。他園の環境や遊びについて学び、日々の保育に生かすことができた
- ・犬山市保育園・半田あさひ保育園への公開保育への参加。ディスカッションにて他園の保育士との交流の中で自ら保育を学び日々の保育に実践した

（渡辺桜先生紹介により参加）

(4) 全体リーダー配置・クラス会議導入実施

- ・園全体の円滑を目指し、他クラス同士協力体制の強化をすることで話し合う場が増え、一人ひとりが意識を持ち、責任を持つことができた

3. 保育園運営

- ・週案に環境図を添付することにより、日々の保育の見直しの強化をおこない、環境設定、事前準備をしっかりとおこなった
- ・週案掲示(環境図)により各クラス主活動計画性の強化をすることで計画的な保育運営ができ、また、他クラスの保育に目を向けることができた
- ・しんほそぐち保育園独自の保育計画見直しの徹底を図り、保育計画に沿った保育の実施
- ・社会福祉法人済聖会保育の根っこを保育士に配布し、常に目を通すことができるようにした

4. 保育実施状況

(1) 保育時間

午前7時～午後7時

(2) 保育内容

- ・保育所保育指針に基づいた指導計画を作成し、保育過程・年間保育計画・月間保育計画・しんほそぐち保育園独自の保育計画に沿った保育を行う事で5領域を育てると共に、子どもの情緒の安定を図り、年齢に合わせた保育を行った
- ・園生活の中で生活リズムを整え、基本的な生活習慣が身に付き、生きる力へと繋げ、いろいろなことへ興味を示すことが出来るような保育の提供を心がけ、体験・経験・発見が得られるようにした
- ・子どもが自発的、意欲的に関われるような環境を構成し、子どもの主体的な活動や子どもの相互の関わりを大切にした
- ・子どもが生活と遊びの中で意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食べることへの関心が持てるようにし、食への意欲へとかわるよう働きかけた
- ・園外散歩を多く取り入れ、地域の方がたと挨拶を交わすなどの交流を深めつつ、園庭では遊ぶことの出来ない遊具(滑り台・鉄棒・のぼり棒等)で開放的に体を動かして楽しむ機会を増やした。また、交通ルールなどしっかりと知らせ、自分の身を守ることを学べるように配慮を行った
- ・トーンチャイムや鍵盤ハーモニカ・ハンドベルなどの楽器に触れ、奏でる楽しさを味わえるようにした
- ・遊びの中から3つの拠点にこだわり環境設定を行い子ども達が独自で遊べる場の提供に心がけ、遊びを通して学べるように配慮を行った
- ・園便り・保健便り・給食便り・行事手紙・クラス便りの保護者へ配布し行事内容を詳細に知らせた。感染症対策とし、病気が流行する前に張り出し保護者へ知らせた
- ・保育参観・クラス懇談会・個人懇談を実施し、保護者との連携を図り、日々の保育へとつなげることができた。また、保護者とのコミュニケーションをとる中で信頼関係を築くことのできた
- ・インターネット・ホームページによる行事のお知らせや献立等を毎月定期的に公開
- ・Facebookの見える化の強化に努めた
(保護者内でFacebook利用者以外も閲覧できるよう毎週1回園内に掲示実施することで日々の保育内容を知ってもらうことができた)
- ・3・4・5歳児クラスにて体操教室の実施により体を動かす楽しさを感じ味わうことができた

※別表参照

※外部講師の指導状況

指導内容	指導回数
体操教室	毎週火曜日 年間30回

※平成28年度年間行事予定は別紙参照

(3) ・給食・食育実施状況

- ・完全給食・手作りおやつでの提供を行い、バランスの良い献立作成（済聖会独自のオリジナル合同献立による給食）により提供。子どもの喫食状況の確認を行い、献立の見直し、改善など話し合い次への献立へと繋げた
- ・基本的に和食中心とし、洋食・中華などバラエティに富んだメニューの実施・又、誕生会や季節のメニューなど行事食を取り入れ、四季と文化を五感で感じられるような工夫を行った。また、いろいろな地域の食材に触れ食への関心がもてるようにした
- ・安心、安全な食の提供の強化の為、保育士との連携をさらに強化し、給食配膳マニュアルを完全導入した。マニュアルに沿った安全な食の提供の強化の貼りだし、常に確認を行い、提供時にも危険がないよう保育士同士連携を図った
- ・月1度の「お弁当の日」を設け持参したお弁当箱に自ら盛り付け食への意欲・感心へと繋げ、行事の季節によりアレンジを加え実施（年間10回）
- ・お箸の正しい使い方について遊びをまじえながら学べる工夫の実施を行い、食事マナーを保育士と共に学べる時間の確保を行った（年齢にあわせての導入方に工夫を行い4・5歳児中心に進めた）
- ・食物アレルギー児への対応では、除去食、一部代替え食での対応。保護者・保育士・栄養士の3者で連携をとり徹底した管理を行い、誤食・誤飲ゼロで一年過ごすことができた
- ・給食配膳、配膳マニュアルに沿った安全な食の提供の強化の貼りだし、常に確認を行い、提供時にも危険がないよう保育士同士連携を図った
- ・食育計画をもとに一年間の野菜栽培活動を通して食育の強化を図ることができた。自園菜園にて野菜栽培・稲作りに取り組み、収穫した野菜を給食の食材として提供し、さまざまな食材に触れ、生長を間近で感じることで食への感謝と自然への興味へとつけていくことができた
- ・食育の一環として作る楽しさを感じられるようなクッキング体験の実施ができた。また、野菜に触れる機会を持ち、たけのこの皮むきやとうもろこしの皮むきなど実際に体験し自ら感じ、考えられるような食育の取組みを行う事ができた。（団子・茶巾絞り・おにぎり・クッキー・餅つき・おこしもの等年齢や季節の行事ににあわせて体験）

(4) ・健康管理の実施状況

1 ・児童

- ・年2回内科検診の実施（3月、9月）
- ・6月歯科検診の実施
- ・毎月身体測定の実施を行い保護者へ報告

2 ・職員

- ・定期健康診断（年1回全職員対象に実施）
- ・検便（月1回赤痢・サルモネラ菌・病原性大腸菌検査の実施）
- ・インフルエンザ接種の実施

(5)・避難訓練・不審者訓練・安心・安全対策・防災関係実施状況

- ・安心、安全な保育を目標とし、保育士全員の意識の向上を図ることができた
- ・災害時、避難所への避難の仕方、避難食の確保、避難食提供リストを昨年作成。全職員が把握できるマニュアル化を行い緊急時に備えたものの見直しをさらに行った
- ・避難食の見直し、確認（保存場所の確認）
- ・避難訓練年間計画書に基づきより具体的な避難訓練の実施を行う中で子ども自身が身を守る訓練を導入し、命の大切さを知らせた。また、年間2回総合避難訓練を取り入れあらゆる想定にも対応できるよう訓練をおこなった
- ・9月に避難食の実践・給食にて提供を行い避難時の食について学ぶことができた
(ビニール袋での調理法を実際に行い避難時に備えた)

※消防訓練実施内容

- ・火災時避難経路の確認・初期消火バケツリレー実践・炊き出し実践

※不審者訓練実施内容

- 第1回不審者訓練（保育士による寸劇により不審者から自分で自分の身を守ることを知らせた）
- 第2回不審者訓練（緑警察官来園にて実施。実際に警察官が不審者となり不審者から子ども達を守る実践を行った）
- 第3回不審者訓練（保育士による不審者侵入訓練。想定外の不審者の動きで臨機応変に子どもを守る訓練の中で、子ども達自らが自分で避難する訓練の強化をした）

(6)・地域交流

- ・勤労感謝訪問とし、お米屋・郵便局訪問。地域の交流を図りつつ感謝の気持ちを学ぶ事ができた
- ・小学校PTA主催安全かけこみステッカーの張り出し。園の子ども達の安全を守ると共に、地域の子どもの安全を守ることへの協力をを行い、早朝時間は駐車場に立ち、挨拶運動を行い地域の子ども達への声かけを行った
- ・地域小学校への訪問（小学校内の見学をさせていただき就学に意欲を持つことができた）
- ・保育士・栄養士保育園実習の受け入れ実施
- ・地域中学生職業体験の受け入れ実施

(7)・子育て支援実施状況

昨年に引き続き平成28年度6月より外部0・1歳児向けへの子育て支援開催。地域交流を図ると共に保育園に招き子育ての悩みなど相談できる場の提供とし、月1回「きらきらの会」を開催

- ・実施内容：6月 ふれ合い遊び・運動遊び
- 7月 小麦粉粘土遊び
- 8月 水遊び
- 9月 園庭遊び
- 10月 運動会参加
- 11月 お散歩
- 12月 クリスマス会
- 1月 鬼の的当て
- 2月 食育について・リズム遊び
- 3月 お別れ会（学生による布絵本）

H28年度 しんほそぐち保育園 年間行事

●年間スケジュール（4～9月）

月	行事	保護者参加行事
4月	1日（金）希望保育 4日（月）始業式 4日（月）～8日（金）慣らし保育 20日（水）誕生会 21日（木）避難訓練	2日（土）入園式
5月	11日（水）誕生会 18日（水）不審者訓練 26日（木）避難訓練	19（木）親子遠足（3～5歳児） ※0～2歳は通常保育 給食試食会（0～2歳児）
6月	1日（月）衣替え 15日（水）誕生会 16日（木）歯科検診 23日（木）避難訓練 14日（火）歯磨き指導（5歳児） 29日（金）プラネタリウム見学（5歳児）	個人懇談会 0・1歳児 5/30日～6/3日 2歳児6日～8日 18日（土）保育参観（3～5歳児）
7月	1日（金）プール開き 午睡開始（4・5歳児） 7日（木）七夕会・誕生会 16日（土）お泊り保育（5歳児） 21日（木）避難訓練	
8月	3日（水）誕生会・すいかわり 12日（金）～15日（月）希望保育 25日（木）避難訓練 31日（水）プール納め	
9月	1日（木）総合避難訓練 14日（水）内科検診 15日（木）お月見会 21日（水）誕生会	16日（金）きらきらの会（敬老会）

●年間スケジュール (10月～3月)

月	行事	保護者参加行事
10月	1日(土) 衣替え 12日(水) 誕生会 20日(木) 避難訓練 26日(水) 不審者対策訓練	15日(土) 運動会
11月	9日(水) 誕生会 17日(木) 避難訓練 11日(金)～17日(木) 作品展	15日・29日(火) 体操教室参観 (3～5歳) ※自由参加 26(土) 保育参観(0～2歳児) 個人懇談会 3歳 28日～30日
12月	14日(水) クリスマス会・誕生会 17日(土) 避難訓練 21日(水)～28日(水) 希望保育 29日(木)～31日(土) 年末休園	個人懇談会 4・5歳 1日～6日
1月	1日(日)～3日(火) 年始休園 4日(水)～7日(土) 希望保育 11日(水) 誕生会 13日(金) 餅つき 26日(木) 避難訓練	
2月	3日(金) 節分 8日(水) 不審者対策訓練 15日(水) 誕生会 22日(水) 総合避難訓練 保育まつり(5歳児)	18日(土) 生活発表会
3月	1日(水) ひな祭り会・誕生会 9日(木) 避難訓練 10日(金) 人形劇観賞 15日(水) 内科検診・新入園児説明会 16日(木) お別れ遠足 22日(水) お別れ会	16日(木) 給食試食会 3・4・5歳児 25日(土) 卒園式 ※在園児代表で4歳児参加

平成28年度 事業報告書

ブライト保育園 横浜佐江戸

1. 保育園の概要

(1) 所在地：横浜市都筑区佐江戸町 2089-1

(2) 定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6	8	10	12	12	12	60

(3) 平成28年度の園児数

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6	12	12	13	13	10	66

(4) 職員数

役職	園長	主任	保育士	保育補助	調理師	栄養士	嘱託医	合計
常勤	1	1	10		1	1		14
非常勤			8	4	1		1	14

(5) 事業年度

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(6) 開園時間

平日 7:00～20:00

土曜日 8:00～16:00

(7) 職員会議

会議名	出席者	頻度
昼礼	園長、主任、クラス代表1名、給食1名	毎日
職員会議	正職員	月1回
リーダーM	主任、リーダー	週1回

備品・衛生	主任、係	月1回
安全・写真	主任、係	月1回
連絡係	主任、係	月1回

(8) 人材育成、保育の質向上の取り組み

コミュニケーション「あいさつをする」「言葉遣いに気を付ける」
時間を守る

(9) 小学校、行政、地域との連携

学校訪問、地域保育園との交流

2. 保育目標

【保育理念】

- ★こども・保護者、関わるすべての人に「心の温かさ」、「元気」、「感動」を与えつづける。
- ★様々なことに挑戦する。
- ★保護者のニーズを理解し応える。

【基本方針】

アタマ・ココロ・カラダを育む三位一体“興育”を通じて「生きる力」即ち

- ★自ら考え、行動する。
- ★あきらめない気持ち
- ★豊かな感性とコミュニケーション
「自信」を育てます。

【保育目標】

〈つよく〉

- ★強い心と丈夫な体
- ★自分で考え行動し、生きようとするこども

〈ゆたかに〉

- ★よく食べ、よく遊び、よく眠る
- ★いろいろなことに興味をもって自分らしさを表現できるこども

〈キラキラと〉

- ★笑顔であいさつ、元気いっぱい
- ★仲間を大切に素直で思いやりのあるこども
- ★好きなこと、得意なことを見つけ、それに打ち込めるこども

3. 今年度の重点的な取り組みの結果

○リズム活動、

職員にも浸透し、定期的に行えるようになり園児も楽しみにしている。

○人材育成

職員に1対1で指導者がつく体制をとったがあまり機能しなかった。新人などには有効かもしれないが、全職員で同時に行うにはもう少し時間をとるなどの対応が必要だった。

○保護者・職員間のコミュニケーション（報連相）

職員から保護者には積極的に声をかけていた。信頼関係もでき、園運営は円滑に進んだと思う。

○「あいさつをする」「言葉遣いに気を付ける」「時間を守る」

年度初めに決めた目標だったが、毎回ことあるごとに確認したとまでは言えず、徹底できなかった部分もある。今後は目標を決めたら事務所内に掲示したり、会議内で確認するなど、毎回確認できるようにしたい。

【ブライツ保育園大阪谷町 平成 28 年度事業報告書】

1. 保育所の運営

(1) 定員 70名

(2) 年齢別入所児童数(平成 28 年 3 月 31 日現在)

夢(0歳)	虹(1歳)	月(2歳)	星(3歳)	宙(4歳)	華(5歳)	合計
3名	12名	11名	15名	14名	7名	62名

(3) 職員数

- ・園長(1名) ・保育士(7名) ・パート保育士(7名)
- ・調理(管理栄養士)2名 栄養士(1名)
- ・嘱託医(内科1名・歯科1名) 計 20名(平成 27 年 3 月 31 日現在)

(4) 職員会議の開催状況

- 園の円滑な運営と事業推進の為、随時必要な会議を執り行う。
- ・職員会議(毎月) ・給食会議(毎月) ・行事会議(諸行事前後)
 - ・ミーティング(毎日)

(5) 研修会、勉強会(人材育成、保育の質の向上)のための取組み状況

- ・各種団体の開催する研修会への参加
 - 「食べ物と健康」
 - 「幼児と保護者のための食育講座に取組もう」
 - 「気になる子どものはったつと特性の理解」
 - 「遊びが育てる子どもの力～発達をふまえていねいなかかわり～」
 - 「小児の発達の理解と健康」
 - 「ガスモチコンベクションオープン アレルギーセミナー」
 - 「食事と栄養研修会」
 - 「教育・保育施設における個別配慮や対応について」
 - 「発達障がい児の理解と対応・就学までにやっておきたいこと」
 - 「子どもも保育者も楽しくなる保育」
 - 「乳幼児期におけるアタッチメントと自己・社会性の発達」
- ・園内研修(外部講師)
 - 「保育・遊びが楽しくなる環境と援助」

以上の研修については、毎月の職員会議において研修報告をし、職員全員が共に学ぶ場を設けた。

(6) 進級説明会の実施

当園初めての進級なので、改めて保育園利用の約束事等々を保護者に伝える。ビルの中の園である為、制約も多くなっているのだが、皆が安全に気持ち良く登園できるよう、保護者に協力を仰ぐ。

2. 安全管理・防災・防犯

(1) 避難訓練

火災・地震時の緊急避難の訓練を、時間帯・曜日等々変えながら実施。当初、階段での避難が恐くて泣く子どもも多かったが、回を重ねる毎に慣れ、落ち着いて取り組めるようになって来ている。

(2) 不審者対策訓練

警察の防犯担当の方にお越し頂き、当園での対策についてご指導頂く事で、日頃から職員が何に気を付け、どう行動するべきかが見えてきた。

3. 処遇

(1) 保育時間

午前 7 時 00 分～午後 7 時 00 分
(延長保育時間 午後 6 時 00 分～午後 7 時 00 分)

(2) 保育内容

年間を通し、事故も無く各行事も無事に終えることが出来た。人格の基礎部分の安定を培う場であり、子ども達の健康・発達の保障を委ねられている保育園で、保育士は子ども達の年齢の発達の特徴を深く知る事、その上で一人ひとりの発達のペースを守って行くことが必要であると感じ、職員間で話をしつつ日々の保育を進めてきた。集団の中に 10 時間以上居る子ども達も多く、生活体験の乏しい子ども達に、保育園で様々な生活を保障することも大きな重要な点として取り組んできた。2 歳・3 歳・4 歳のクラスでは、年齢に応じた粗大運動も取り入れつつ、メロディーやリズムの模倣、音符についても学ぶ時間を設け、音楽活動を取り入れた。

(3) 実施した特別保育事業

延長保育促進事業

(4) 実施した主な行事

別紙「年間行事予定表」参照

4. 給食の実施状況

- ・手作りにこだわり、季節・行事を感じられる和食中心の献立を実施した。
- ・「お弁当箱の日」を設け、自分のお弁当箱に自ら盛り付けることで、食べ物への興味や関心が高まっているように感じる。
- ・屋上で「稲作り」に挑戦したが、夏、屋上が暑すぎてほぼ枯れてしまった。
28年度は、もう少し涼しい場所での栽培を検討したい。
- ・アレルギー児には豆乳・マヨドレ等々を使用することで、他児と同じ物が食べられる喜びを感じ、食べる事への意欲に繋いで欲しいと願っている。
- ・献立表・給食だよりを月1回発行

5. 子育て支援・保護者支援

- ・乳児には離乳食の進め方等、保護者・担任・栄養士と一緒に話し合い、進めて行った。家庭で提供している物が、子どもの成長に応じた物なのかどうかもアドバイスした。
- ・保育参観・懇談・各行事を通して、子ども達の小さいが確実な成長を保護者に伝え、成長の喜びを共有するようにした。職員間でもクラスを越え、子ども達の変化を話、担任でなくても気付いたトピックを保護者に伝えるようにした。
職員皆が子どもの姿を見ているという安心感を抱いて頂けたらと思っている。

6. 健康管理の実施状況

(1) 児童

① 小児科検診

年2回(3月、9月)園囑託医による健康診断を実施した。

② 歯科検診

年1回 6月 園囑託歯科医による歯科検診を実施した。

(2) 職員

① 定期健康診断

年1回 全職員健康診断を実施した。

② 検便

毎月「赤痢・サルモネラ菌」「病原性大腸菌」の検査を専門業者に依頼し、実施した。

平成28年度ブライト保育園東京入船事業報告書

I. 保育所の運営

(1) 定員 50名

(2) 年齢別入所園児数 (平成29年3月31日現在)

虹 (1歳)	月 (2歳)	星 (3歳)	宙 (4歳)	華 (5歳)	合計
13名	8名	8名	1名	0名	30名

(3) 職員数

・園長 1名 ・主任 1名 ・保育士 8名 ・パート保育士 1名 ・パート 1名
・調理 (栄養士) 2名 ・パート調理 1名
・嘱託医 1名 (内科 1名) 計 16名 (平成29年3月31日現在)

(4) 職員会議の開催状況

園の円滑な運営と事業推進のため次の職員会議を行う。

・定例職員会議 (毎月) ・リーダー会議 (昼ミーティング月 12回)

(5) 研修会、勉強会 (人材育成、保育の質の向上) の取り組み状況

保育所ニーズに応え、児童福祉・地域福祉の一層の展開を図るため職員の資質向上は極めて重要であり、上部団体・各種団体の開催する研修会・研究会に積極的に参加。
外部のみならず、内部においても各種勉強会 (保育研修、食育など) を実施。

(6) 小学校・行政機関との連絡協調

保育所に対する理解を深め、協力、連携を図るため幼保小連絡会に参加

II. 保育の実施状況

(1) 保育目標 (方針)

【ミッション】

関わるすべての人の「ハッピー」を迫及することをもっとも大切な使命とこころえています。
「園児」の「生きる力」(独り立ちし社会の中で生きていく力) の基盤づくりを「アタマ・ココロ・カラダ」の三位一体「興育」を通じて支援する。

【モットー】

「つよく、ゆたかに、キラキラと」を保育モットーとしています。
生きていくうえで大切な「つよさ、ゆたかさ、キラキラ」を園児自らが身につけることを支援したいという「思い」と「姿勢」が表れています。

【保育目標】

“私は私 (自分らしく生きる)、私はみんなの中の私 (みんなと共に生きる)”
《一個の主体として生きていく基本姿勢を育む》

- ① 自分の思いを表現する
- ② 自分で積極的に「ヒト、モノ、コト」に取り組む
- ③ 自分で考え、工夫し判断する
- ④ 他者の思いに気づき、他者の思いを受け止めていく

【保育の関わり方】

- ① 子供の思いを受け止める
- ② 子供が自分で経験することを大切にする
- ③ 子供が自分で考え工夫することを大切にする
- ④ 子供が自分で気づくように言葉かけをする

(2) 保育時間

午前7時30分～午後7時30分

(延長保育時間 午後6時30分～午後7時30分)

(3) 保育内容

- ・ 保育所保育指針に基づいた指導計画を作成し、計画的に保育を行うことで、子どもの情緒が安定するような生活環境を作り、それぞれが自己を十分発揮して活動できるよう促していった。
- ・ 『興育』の考えに重点を置き、より多くの体験、感動から子どもたちが学ぶことを大事にした運営を心がけた。
- ・ 年齢に応じて保育環境を準備し、基本的な生活習慣を身につけるための介助、言葉かけを行い、自立心を養った。また、遊びの中で集団生活に必要なルールを知らせていった。
- ・ リトミックの指導を受けながら、日々の保育の中で子どもたち一人ひとりが運動や音楽に興味を持ち楽しんで取り組むことができるよう心掛けた。
- ・ 晴天時には園外散歩の機会を増やし、自然を取り入れて遊ぶことで四季の移り変わりを体で感じ、感性を磨くことにつなげることができた。
- ・ 「遊び」の積極的な取り組みをより深め、進化させるために外部講師（名古屋学芸大学 渡辺准教授）を招いての園内研修を実施したいと考え著書本2冊を職員間で熟読した。次年度に向けてさらに遊びの幅と質を追求していきたい。
- ・ 28年度重点取り組みテーマ“保育士が元気である為のやりくり”は各職員が業務に追われる中でこの取り組みは到達出来たかという必ずしもそうではなかったと反省を含め今後またどうしてこうしたことになったのか色々と振り返り次に繋げる一歩となったと思う。今後色々な相乗効果が見込まれるこの課題は永遠の課題として常に念頭におきたい。関わる全ての人のハッピーの為に。

(4) リトミック教室の実施状況

年に2回ブライト保育園大阪谷町園長高田先生をお招きして開催した。

普段目にしたことの無い楽器や小道具を用いてピアノに合わせて楽しく行われた。子ども達の為に職員も何が出来るのか実践を伴った研修を兼ね備えたものであった。こうした機会を得て技術を習得し、普段の生活にどんどん取り入れられるよう保育の幅も広がった。

(5) 実施した特別保育事業

延長保育促進事業

III. 給食の実施状況（食への取り組み）

- ・ 季節の食材を取り入れた手作りで和食中心の献立を実施した。
 - ・ 缶詰などの食材は非常時に園児が食せるようにという理由から時々メニューに加えるよう献立を実施した。
 - ・ 済聖会による給食会議に参加し、子どもたちの食べ具合などを考慮し、メニューの改善や食材の幅を広げるなどの工夫を心がけた。
 - ・ アレルギー体質の子どもへの対応策の改善、改革を常に心がけ、保護者の方との連携を密にして子どもにあった食材の提供を試みた。
- (*除去食だけでなく、一部代替食の実施を試みた)
- ・ 保護者も集う親子レクリエーションを実施し実際に園児が食している食材を保護者にも提供し、家庭での献立、味付けなどの参考として頂くことができた。(5月)

IV. 子育て支援

- ・ 保護者会、個別面談を通じて、育児、食育などに対する保護者の声に耳を傾けアドバイスや励ましを行った。
- ・ 悩みを抱える保護者とのやり取りを担当だけでなく要望があれば相談室（事務所内）で話を聞いたりアドバイスしたりした。園内だけにとらわれず子育てに悩む地域の方々にも目を向けて今後も引き続き運営していきたい

V. 健康管理の実施状況

(1) 園児

① 小児科

1歳児年12回、2歳児以上年3回園囑託医による園医回診を実施した。

② 歯科

年2回(6月、12月)歯科医による歯科検診を実施した。

(2) 職員

① 定期健康診断

年1回、健康診断を全職員に実施した。

② 検便

毎月、専門業者に依頼し「赤痢・サルモネラ菌」「病原性大腸菌」の検査を全職員に実施した。

③ 救命技能認定証

平成28年7月23日に正規職員全員に普通救命講習を実施し、救命技能認定証を取得。

VI. 非常災害危険防止の実施状況

(1) 避難・消火・通報訓練

月1回、いろいろな場所からの出火を想定して避難・消火・通報訓練を実施した。

また地震を想定した防災訓練も実施した。

今年は消防署の方に参加頂いて、防災訓練についての指導および実践的消火活動を指導して頂いた。

(2) 防犯訓練

不審者出現を想定した防犯訓練を行った。

考え得る様々な場面、シーンを想定してのより実践的な不審者訓練を実施した。

VII. 地域交流など

○夏祭りに地域の方々を招待

○地域交流会と題し地域の方や園児祖父母をお招きしてイベント企画(敬老の日)

平成28年度 事業報告書

ブライト保育園 浦和美園

平成24年3月31日(金)

1. 保育園の概要

(1) 所在地：埼玉県さいたま市緑区下野田509番地

(2) 定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
3	12	15	20	20	20	90

(3) 平成28年度の園児数(想定)

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
3	12	14	18	5	3	55

(4) 職員数

役職	園長	主任	保育士	保育補助	調理師	栄養士	嘱託医	合計
常勤	1	1	8		1	1		12
非常勤			2	5			1	8

(5) 事業年度

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(6) 開園時間

平日 7:00～20:00

土曜日 7:00～18:00

(7) 職員会議

会議名	出席者	頻度
職員会議	正職員	月1回
クラス会議	各クラス担任	隔週
リーダーM	主任、リーダー	月2回

備品	主任、係	月1回
安全	主任、係	月1回
行事会議	主任、担当	適宜

(8) 人材育成、保育の質向上の取り組み

- ・外部研修に出来る限り参加し、専門的知識を身につける機会をもてた。
- ・園内会議では日頃の保育の振り返りを行い、子どもの権利を優先する保育を行うための具体的な方法を話し合う事ができた。
- ・各担任・係りなどに仕事を任せることによって自分で考え責任の持てる保育を行った。

(9) 小学校、行政、地域との連携

- ・近隣の小学校の職場訪問を受け、保育園の仕事などの質問に答えた。
- ・行事の時にはポスターを掲示するなどして近隣の方々に知らせていたので、夏祭りには近くに住まいのかたがお子様と一緒に参加して下さった。
- ・老人ホームなど交流を持てる施設をさがそうとしたが、開園1年目で落ち着くことを最優先とし幼児が少ないなどのため行えなかった。

2. 保育目標

【保育理念】

- ★こども・保護者、関わるすべての人に「心の温かさ」、「元気」、「感動」を与えつづける。
- ★様々なことに挑戦する。
- ★保護者のニーズを理解し応える。

【基本方針】

アタマ・ココロ・カラダを育む三位一体“興育”を通じて「生きる力」即ち

- ★自ら考え、行動する。
- ★あきらめない気持ち
- ★豊かな感性とコミュニケーション
「自信」を育てます。

【保育目標】

〈つよく〉

- ★強い心と丈夫な体
- ★自分で考え行動し、生きようとするこども

〈ゆたかに〉

★よく食べ、よく遊び、よく眠る

★いろいろなことに興味をもって自分らしさを表現できることも

〈キラキラと〉

★笑顔であいさつ、元気いっぱい

★仲間を大切に素直で思いやりのあることも

★好きなこと、得意なことを見つけ、それに打ち込めることも

3. 今年度の重点的な取り組み。

近くに公園がなかったため 2 歳児からは長い距離を歩いて行かなければならなかったが、かえって歩く機会が増えてよかった。また歩いている間も自然の動植物の発見などができた。

大きな事故もなく行事のアンケートでも喜んで下さっているご意見が多かった。